

東北日報

本報創刊二十二年 郵政特許第一行 印刷所 仙台市青葉区大森 電話 二二二二 社址 仙台市大森 電話 二二二二

社説

荒井平署長の談話なりど

して南町の私娼を郊外の
一廓に移転せしめるとい
ふ新聞記事を散見したが
荒井君の意見としては社
會風教が私娼によつての
み亂されるやうな鼻息で
あることが、何んとなし
に物の哀れを感じざるを
得ないのである。

私娼を風教の對物として
のみ考ふるべきにおいて
は當然その存在を無視す
べからざる性能であらう
なれども、社會國家を構
成する多數の全無階級
の性的問題を考慮の一ツ
にかぞへて居らなければ
ならぬ。

社説

いのである。

要するに道德觀念の推移
であり、變形となる。
公しよう私しようとの差
別がある。右の如き
やうな頭で法的に考へる
から無能となるのである
公私しようとは同一行為
の結果を得ることであり
公しようを恥とする時代
思想が流れてゐることが
人間の恥は暗から闇で隠
れやうとする本能の現は
れである。ここに私しよう
が生れ無産者の娘達が
時代相にあてがれ女の意
欲を満たそうとするの
は、どうして暗の花ばさ
経済的に恵まれるものが
ないといふ觀念に到達し
た結果である。公しよう
は文明國の耻辱であるが
最大の耻辱であるが私
しようも耻辱であることは
兩方とも悲しい名ではあ
らう。

一轉してこの私しようが
どうして今日の發達をみ
るに到つたのかを考へる
と性的に満足と與へる公
しようよりも安價であり
手軽であり、素人らしい
の初心者が多いといふ點
にあらふ、そして若し安
價に性的問題を解決し得
ないといふことであるな
らば無智で單純な無産者
の私しようであるであら
う。社會も亦必ず私し
やうを與へるであらう。
文明國に公しようはない
が私しようは到る所にう
よ／＼してゐるのである
荒井君が、南町の私し
やうを一廓に移転せよと
すべきだと考へる前に、
新田町の藝妓屋も郊外の
一廓に移転しては如何
風教をピンランすること
においては私しやうより
も大きい影響を社會に與
へてゐる私しやうよりも
藝妓が社會的悲劇を起
して幾多の事件を残して
ゐる。

無免許の道路技手が

平土木監督所長を乗せ

サイドカーを運轉中

問題の成行注目さる

十四日午前十一時ごろ平町然これに告發した小
から石城郡好間村に通ずる林監督所長は同調査と平署
常盤線踏切を疾走中のサイ
ドカーを交通取締の折から
あつたが取締りに基き平署
は告發を受理することに
なつた。

署員が、取調べると右
は平土木監督所長小林清吉
(三九)氏を同乗させ同所員
重要府縣道並に一般道路改
良主任本縣道路技手君島與
(二二四)氏が無免許で運轉
所長も違反構成の上を教さ
してゐたものと判明同調査
は交通事政防止に鑑み自動
車取締處罰令違反として斷
る。

露骨な緊縮で

失業者が七百名

社會民衆黨常務支部

の石城郡下に於ける調査

政府の緊縮宣傳はあらゆる數を見る七百三十餘名の
方面に響き互つておるが殊多きに達して居りその内約
に石城郡地方における大小五割の三百二十名は炭礦勞
炭礦においては多年經營難働者の失業者であるので同
に苦しんでゐた矢先として好支部ではきん縮の美名に藉
期を來れりとはかり或は 口して多くの勞働者を
人事の上には或は賃金 失業の 深淵に突き落
の上乃至は事業の上にと各事は重大問題であるとし
方面に互つて露骨な緊縮をて近く各炭礦に對し警告を
試みるに至つたので従業員發ししれによつてきん縮反
間には會社非難の聲を放つ對運動に着手する事となつ
者さへ現れるに至つたが最たるがきん縮を中心とする皮
近社會民衆黨支部で調肉な争ひは今後相當續けら
查したこれ等事業の掌控へれものと
又は 識者の 注目を惹いて
等によつて生じた失業者の
小名濱、商港起工中止
ある

未納者

に對す期日ま
でに納める様と勸誘中であ
るが果して未納者全部が明
日の午後四時までに納め
かどうかは頗る疑問視され
て居る

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設
はゆかなかつた前署長時中のもの最も多く中には搔にかゝりおそくも十一月十日前後に四十口全部の通話が開始されるものと見られ
てゐるので問題ではない
去る七日以来の雨天続き
爲め施業上に支障を來し且
つ保温の爲に行届きから各
面に蠶兒の化病(一名
オシヤク病)が発生し益々
蔓延の模様なので石城養蠶
同業組合では十三日注意書
を各町村に配布し極力之れ
を豫防に努める事となつた

人命救助の

表彰方縣に申請
豊間村八幡居住漁夫鈴木兼
吉(六一)同忠(二二)の兩名
が十四日午後三時頃馬船
に乗つて小名濱沖合二十哩
里の附近で出漁中激浪のた
め船諸共海中にのまれ兩名
は溺死せんとしたのを
小名濱大敷網の神田廣自外
料理 丸昇軒
電話四三九番
有聲座の割引券あり
白銀町 丸山雜貨店

明十六日迄に納入の

第一回電話設備費

成績極めて悪く

完納頗る疑問視さる

二十四名が発見急送出動し
て之れを救助したが平署で
は前記二十五名の人命救助
方表彰方を縣に申請する事
となつた

蠶兒の

オシヤク病

郡下にマン延

石城郡下の晩秋蠶の掃立枚
を各町村に配布し極力之れ
を豫防に努める事となつた

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

監督所では

問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

監督所では


問題ではないと語る
右に就き平土木監督所側で
は語る
君島技手は去る七月上旬
本縣施行した自動車運
手試験をうけ合格した
ものと思つてゐる去る九
日試験をするから出張せ
よと縣保安課からいつて
來たが再試験をうける必
要はないといつて君島君
平局における本年度架設の電話は十月中旬頃から架設

良品廉賣に勝る商略なし
 警城平五丁目
 警城セメント株式會社特約代理店
 和洋鋼鐵 金物問屋
釜屋商店
 諸橋久太郎
 電話九番一三九番
 振替貯金口座一〇九五六番
 確實敏捷は 生命なり

特賣！
 たひら正宗 福島縣清酒品評會
 一等賞受領
 花春 同優等賞受領
 鹽屋最上醬油釀造元
山崎合名會社
 平町土橋 電話一〇番二七番
 東京上野車坂四三
東京支店
 電話下谷五七二番

イスとテーブルの御用命は
 本箱とツクエ
本丸ほん家具店
 營業所 平町三丁目 電話五三九番
 製造所 平町新田前 電話七二三番

平看護婦會
 會長 清野 キヨ
 平字南町 電話三〇七番
 看護婦派出の需めに應ず

世界婦人藥王
 責任無効返金

 此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ヶ年に亘る悪性の子宮病に悩む人を研究臺として發明したる理想的藥劑
 主婦之友、婦人俱樂部、婦女界、婦人世界等有名四大雜誌に効果發表になつてあります
 定價一週分四十錢 十週分參圓五拾錢
 平町古鍛冶町(縣社ノ下)
 地方代理店 **阿康藥店**
 電話四四四番

絶体!!!
 ハゲヌコワレヌ
 專賣特許
萬年食器
 實物御一覽の上御用命下さい
 汁腕類は大形三十五錢より御座います
 福島縣發賣元代理店
和久井屋漆器店
 平町一丁目 電話四〇五番

合着服 新荷着
 平二丁目
あかや洋服店
 電話二〇五番

秋帽子...ワイシャツ
玉屋洋品店
 平町田町通り 電話六五六番

安全第一
 諸債券公債類ノ御用ハ是非迅速簡易チモツトースル弊店ヲ精々御利用下さい
營業 勸業債券 兩替 復興債券 金融
課目 公債 其他 金 質物 一般取扱
 平町大工町多田井質店

昭和五年度の
大小日喜富多
カレンスター
美人ポスター
 見本種々取揃ひました
 御早く御注文下さい
 御用の節は電七五七へ 店員伺ひます
 平驛前通り
 大阪製版印刷會社
 東北代理店 **丸山印刷所**

内外果實問屋
不藤居商店
 平町三丁目 電話五四三番

外科一般 (入院隨意)
 内臓外科専門
 花柳病科
 平町六丁目(橋際)
木村科外醫院
 電話三〇九番

おなじみの
昭和タクシーで
セダン型の新車を
 購入しました
 電話は好きなきな **三四三番**
 平驛前

緊縮ニ輸入防濁
 純國産品で正確堅牢なるセイコー腕時計皆様へ切にお薦め致します
 ◎宣傳の爲め抽籤特賣
 一等 復興債券(額面百圓) 六十本
 二等 蓄音器(市價七十五圓) 二百二十本
 三等 置時計八角(市價卅五圓) 三百本
 四等 目覺時計角形(市價圓半) 千三百廿本
 五等 机上時計(市價二圓廿錢) 五萬四千二百本
 ◎期日十一月三十日まで 空籤なし
 平町三丁目
 特約店 **大谷時計病院**
 電話十九番

常磐線平町四丁目花信
 附屬品卸
 自動轉車商
山光堂
 葬儀社
 電話五五〇番
 特に勉強致します

特製
リベール
 慢性淋病藥
 一圓 二圓 三圓 五圓
 四丁目 **小野藥店**
 電話一四四番